

河川整備計画策定の流れ

平成13年2月

流域委員会発足

審議

平成15年1月

新たな河川整備をめざして
淀川水系流域委員会提言

流域委員会の議論と並行して整備計画の策定作業に着手

説明資料(第1稿)

平成14年12月

意見

意見交換会、ハガキ、FAX、メール

意見

県、市町村

意見

ダム計画の見直しに関する説明

平成15年4月、5月

意見

意見交換会、ハガキ、FAX、メール

意見

県、市町村

意見

説明資料(第2稿)

平成15年6月

意見

意見交換会、ハガキ、FAX、メール

意見

県、市町村

意見

審議

河川整備計画基礎原案

平成15年9月

意見

意見交換会、対話討論会、ハガキ、FAX、メール

意見

県、市町村

平成15年12月

淀川水系流域委員会
「意見書」

河川整備計画基礎案

平成16年5月

．丹生ダム計画に関する調査検討の全体構成

1 ．丹生ダム計画についての調査検討項目

*下線は今回の説明でふれる事項

- 1) 代替案に関して、さらに詳細な検討を行う。
- 2) 琵琶湖の水位低下抑制のための丹生ダムからの補給による効果と、その自然環境に及ぼす影響について、さらに詳細な調査検討を行う。
 - 2)-1 琵琶湖環境全般について課題の整理（大戸川ダムとあわせて説明）
 - 2)-2 琵琶湖の水陸移行帯における調査（大戸川ダムとあわせて説明）
 - ・過去における水陸移行帯での生物調査
 - ・コイ科魚類の産卵・成育実態調査
 - 2)-3 丹生ダムによる補給の効果の検討
 - ・異常渇水時の効果の検討
 - ・琵琶湖の水位低下を抑制することによる効果の検討
 - ・高時川での効果の検討
 - 2)-4 丹生ダムからの補給による自然環境への影響
 - ・姉川河川水の琵琶湖への流入状況調査(雪解け水について)
 - ・貯留水の補給が高時川・姉川および琵琶湖に与える影響の検討
- 3) 貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更に伴う貯水池周辺やダム下流に与える影響をはじめ、環境等の諸調査を行う。
- 4) 土砂移動の連続性を確保する方策の検討を行う。
- 5) 利水について、水需要の精査確認を行う。

2.丹生ダム計画に関する調査検討の全体構成

朱字 :今回中間報告を行う項目

青字 :基礎案 (前ページ参照)との対応

琵琶湖に関する調査検討

琵琶湖の水位低下時の生物の状況調査
 ・コイ科魚類等の産卵環境調査
 ・コイ科魚類等の成育環境調査
 琵琶湖の生物環境の調査(全般)
 姉川河川水の琵琶湖への流入状況調査

琵琶湖水位低下抑制の対策案の検討 1)2)
 補給可能量の検討
 補給による効果の検討
 補給による琵琶湖水質への影響の検討
 貯留水の補給が高時川・姉川に与える影響の検討

琵琶湖にかかる環境全般についての検討 1)2)

高時川・姉川流域に関する調査検討

河川流況(瀬切れ等)調査
 農業水利状況調査
 漁業状況調査
 魚類遡上、産卵調査
 河川水質調査
 動植物、生態系調査
 沿川の水利利用状況調査
 人と自然のふれあいに関する予測検討
 沿川地下水調査
 河川周辺(堤防を含む基礎地盤)地質調査
 水際植生の調査
 河川の土砂移動に関する調査
 気象変動に関する調査

異常湧水時の対策案の検討 1)2)
 異常湧水時の課題の整理
 対策案の検討

ダム下流河川の水質の予測検討 3)

瀬切れ対策(河川環境の保全再生)案の検討 1)3)
 ダム以外の案も含め対策案の検討

治水対策案の検討 1)
 ・ダム以外の案や複合案も含め対策案の検討
 治水のソフト対策の検討
 堤防の安全性と強化に関する検討

土砂移動の連続性を確保する方策の検討 4)
 ・ダム貯水池の堆砂の検討
 河川の土砂移動の連続性の確保の検討

土砂災害の軽減効果に関する検討 基礎案3.1.1(4)

丹生ダム周辺に関する調査検討 (高時川上流域)

河川流況調査
 水質調査
 環境基盤調査(陸域、河川域)
 大気環境に関する調査
 動植物、生態系調査
 重要種の調査
 人と自然のふれあい、景観に関する予測検討
 森林の機能と保全に関する調査
 土砂流出、堆砂に関する調査
 地質、活断層、地すべり調査

ダム貯水池水質の予測検討 3)

ダムによる自然環境への影響と効果の検討 3)
 ダム建設後の環境、景観に関する検討

ダム事業の多面的な効果と影響の検討 基礎案4.7.1(4)

ダム堤体および貯水池周辺の安全性の検討
 すでに調査を実施し一定の成果を得ています。

その他の地域に関する調査検討

京阪神の水需要の精査確認 5)

異常湧水時の対策案の検討 1)2)
 異常湧水時の課題の整理
 対策案の検討

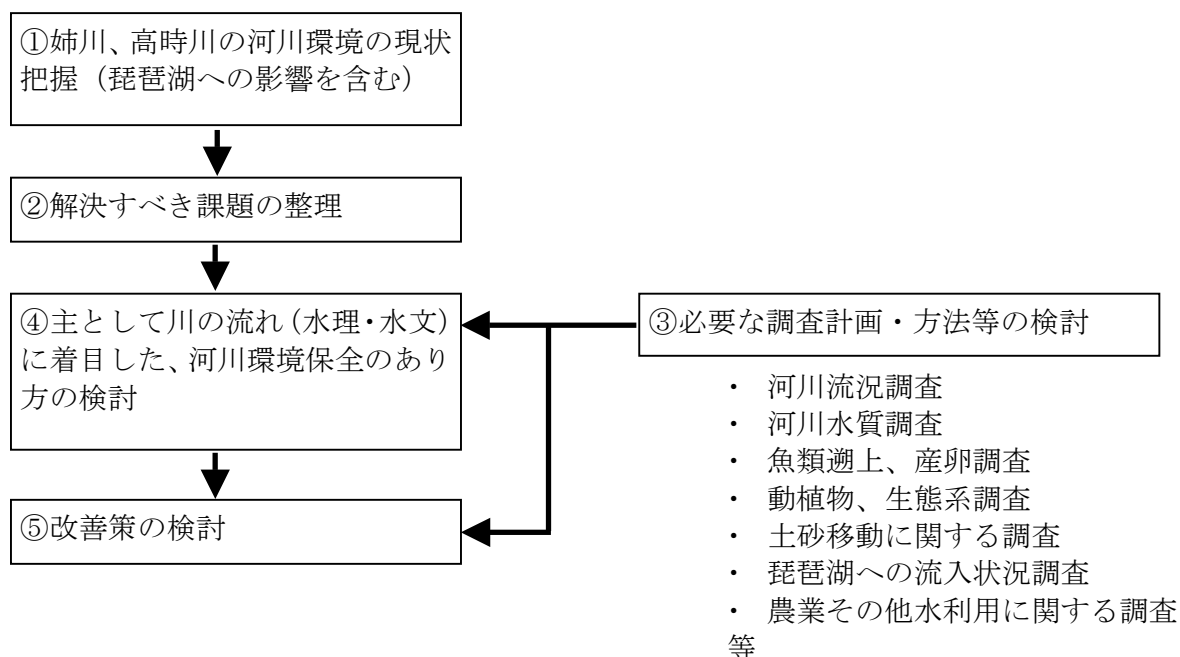
「姉川・高時川河川環境ワーキンググループ」の設置（平成16年6月2日設置）

1. ワーキンググループ設置の目的

淀川水系河川整備計画策定に向けた丹生ダムの調査検討項目のうち、姉川・高時川（琵琶湖への影響を含む）の望ましい河川環境の調査・検討内容等について、専門家の指導・助言をいただく。

2. ワーキンググループでの検討事項

姉川・高時川の望ましい河川環境の実現にむけた検討を下記のように進める予定である。この検討の進め方や検討の内容、必要な調査等について、指導・助言をいただく。



3. ワーキンググループメンバー

姉川・高時川河川環境ワーキンググループメンバーリスト（50音順）

専門分野	氏名等	
環境経済	池上 甲一	近畿大学農学部 教授
河川（土砂）	江頭 進治	立命館大学理工学部 教授
水環境	熊谷 道夫	滋賀県琵琶湖研究所 総括研究員
河川（水文）	寶 馨	京都大学防災研究所 教授
河川生態	竹門 康弘	京都大学防災研究所 助教授
漁業	鳥塚 五十三	南浜漁業協同組合 組合長
生態（魚類）	前畑 政善	滋賀県立琵琶湖博物館 総括学芸員
農業土木	渡邊 紹裕	総合地球環境学研究所 教授